

やまがた



66号

2019年11月1日発行

- 第3回定例会 P 2
- 常任委員会報告 P 3 ~ 5
- 一般質問 P 6 ~ 10
- 議会運営委員会報告・特別委員会報告 P 11
- 議会活動日誌・第4回(12月)定例会予定 P 12



▲ 富岡公民館

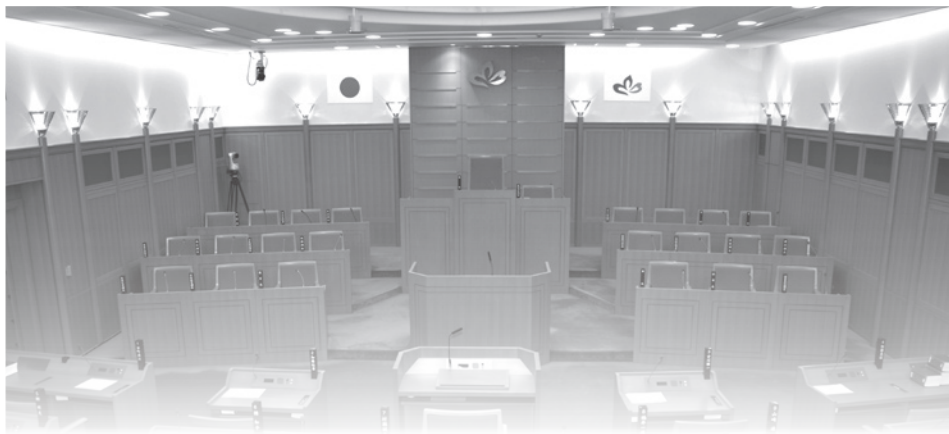


▲ 美山中央公民館



▲ 伊自良中央公民館

第6回議会報告並びに意見交換会
 今年度は3会場同時開催
 市民からの質疑内容は
 次号67号(2月発行予定)に掲載



令和元年 第3回定例会

9月6日～9月27日
(22日間)

今回の議案 15件

【条例案件】	5件
【決算案件】	2件
【予算案件】	3件
【その他】	3件
【報告案件】	2件

こんな議案が 決まりました

【条例案件】

議第86号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例について	可決(全会一致)
議第87号	山県市印鑑条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第88号	山県市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第89号	山県市森林環境整備基金条例について	可決(全会一致)
議第90号	山県市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)

【決算案件】

認第1号	平成30年度山県市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	可決(賛成多数)
認第2号	平成30年度山県市水道事業会計決算の認定について	可決(全会一致)

【予算案件】

議第91号	令和元年度山県市一般会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第92号	令和元年度山県市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
議第93号	令和元年度山県市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)

【その他案件】

議第94号	市道路線の認定について	可決(全会一致)
議第95号	市道路線の廃止について	可決(全会一致)
議第96号	市道路線の変更について	可決(全会一致)

【報告案件】

報第8号	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
報第9号	山県市教育委員会の事務事業の点検評価結果の報告について	—

賛否が分かれた議案

議案番号	議決結果	寺町祥江	加藤裕章	古川雅一	加藤義信	郷明夫	操知子	村瀬誠三	福井一徳	山崎通	上野欣也	吉田茂広	石神真	武藤孝成	藤根圓六
認第1号	可決	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	—	○	○	○

※○は賛成、●は反対、欠は欠席。なお、議長は採決には加わらない。

採決にあたっての主な討論

認第1号

平成30年度山県市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

グリーンプラザオート キャンプ場の整備が財源である辺地債の目的から「美山北部地域住民の生活文化水準の著しい格差の是正」とどのように結びつ

くのか納得ができない。
香里会館指定管理事業の指定管理の在り方や補助金の問題が提起されているが具体化していない。評価できる内容もあるが、内容を総合して反対。

付託された議案を審議

総務産業建設委員会

主な質疑

決算案件

【認第1号】平成30年度山県市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定

Q 中山間地域など直接支払交付金事業の交付金対象農地では、耕作放棄や転用が発生した場合に全額返還を求めることが不安視されているが、全額交付金返還の対象はあったのか。
A 返還の対象はない。

Q 地域活性化事業補助金の高富ふれあい秋まつりに関して、実行委員会の今後の意向は。
A 山県市ふるさと栗まつりの前日に開催し、今後も続けていきたいという意向だと考えている。

Q 高富ふれあい秋まつりを山県市ふるさと栗まつりとして行わない理由は。

A 山県市ふるさと栗まつりは、市全域の祭りになるが、高富ふれあい秋まつりは地域のつながりを大切にすることを目的とし、連合自治会が中心となって行われている祭りであるため。

Q 伊自良夏まつり、美山川まつり、高富ふれあい秋まつりの補助金を100万円としている根拠は。

A 補助金の上限が100万円となっているためである。申請の予算規模が少なければ、100万円を切ることはある。



▲伊自良夏まつり



▲高富ふれあい秋まつり



▼美山川まつり

Q 集落支援員・地域おこし協力隊設置事業の成果では地域活性化の機運を高めることができたかと書いてあるが、不用額206万円が生じた理由は。

A 当初予定していた地域おこし協力隊の人数を確保できなかったこと、年度途中で1人やめたことにより、人件費や活動費の不用額が生じた。



▲柿渋染め体験



▲女性消防隊訓練

Q 防火団体育成事業で、全国女性消防操法大会に向けて人選に苦慮したと書いてある。今の山県市の消防に対する姿勢からすると少々無理があるのではないか。
A 全国大会の代表は県内の持ち回りで回っており、今回山県市に順番が回ってきた。市の女性職員が出場し、週に3回程度の訓練を重ね、非常にやる気を持っている。山県市の女性消防の盛り上げにとっても意義深いものだと考えている。



▲山県市消防操法大会

Q 消防団活動事業費3894万円の内訳は。
A 報酬約1290万円、災害補償費として17万3590円、報償費1146万5000円、旅費2万5400円、その他出動として1437万5000円である。
Q 前年度に比べ消防団活動事業費が295万円増加している理由は。
A 災害出動が平成29年度が17件、平成30年度は31件と14件増えたことによる災害補償費の増加分と、退職者への報償費が、平成29年度28人、平成30年度は31人と3人増えたからである。



Q ふるさと応援寄附金推進事業で返礼品も増加され、寄附額1・8倍、寄附件数2・3倍に伸びたが今までの返礼品と何が変わったのか。返礼品の上位は。

A より多くの寄附を集めるため、本市の魅力を発信する品目を昨年度39品目追加した。新しく追加した返礼品が人気商品となって効果があつた。上位は、かも鍋セット、濃厚卵黄もみじたまご、飛騨牛となつている。



▲飛騨牛切り落とし



▲かも鍋セット



▲濃厚卵黄もみじたまご

Q 山県市ハーパーバス実証実験事業でのバス利用人数は。

A 昨年度の実証実験は、美山地域のデマンド型交通、岐阜大学病院線、市街地巡回線の3路線行い、美山地域のデマンド型交通(登録制)で208人登録があり、1カ月で638人の利用。1日当たりの利用者は29人。岐阜大学病院線の利用者は、1カ月で772人、そのうち学生が115人、一般の人が657人であつた。市街地巡回線は5ルートあり、1カ月で732人の利用者があつたが、ルートで大きく差があり、南東ルートで288人、1日当たり32人。少なかったのが南西ルートで66人、1日当たり73人であつた。



▲実証実験中

Q 狩猟免許取得助成金で応募された人がなく、事業費がゼロだが、PRの方法は。

A 広報やホームページでPRしている。今後は、栗まつりのイベントなど、市民と直接触れ合う機会を利用し、積極的に広報を行っていく。



予算案件

【議第91号】 令和元年度 山県市一般会計補正予算(第2号)

Q 総務費の一般管理費1028万3000円の5人分の内訳は。

A 当初見込んでいなかった退職者2人、育児休業を取得した者1人、休職者1人、病气療養している職員のうち、休暇が長期にわたる1人の欠員補充である。

Q 農林水産業費の林業振興費としての積立金、1469万6000円の根拠は。

A 人口割などの国の基準に基づいて算定されており、国から交付される。

採決の結果、付託された議第86号、議第89号、認第1号、議第91号及び議第94号から議第96号は全会一致で、原案どおり可決した。

厚生文教委員会

主な質疑

決算案件

【認第1号】 平成30年度山県市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定

Q 結婚支援事業の婚活イベントの周知方法、男性、女性の対象者の範囲は。

A 山県市マリッジサポートセンターのホームページで周知し、男性は市内の在住の勤めの人、女性は市内外の人を対象にしている。

Q 買物弱者対策支援事業補助金における高富の買物困難地域はどこエリアか。

A 旭ヶ丘、蛸ヶ丘を主に運行している。

Q 買物弱者対策支援事業の実施事業所はどこか。

A 美山は葛原地区の事業者2人、高富はシルバール人材センターが実施している。

Q 高富児童館指定管理事業における、市内、市外別の年間利用者数と利用者数5%減少の要因は。

A 市内利用者1万7055人、市外利用者8150人。市内利用者の割合が67・4%である。利用者数減少の大きな要因は、児童館の一室を利用して行っている高富小学校区放課後児童クラブの利用人数が813人減少したことである。



緊急通報システム設置補助事業における、運用面の弾力化、改善要望に対する検討結果は。

現状は、在宅で65歳以上の一人暮らしの高齢者、寝たきり老人を抱える65歳以上の高齢世帯、身体障害者手帳の交付を受け、障がい程度が1級から3級までのひとり暮らしが対象となっている。必要な人に対しては、ケースバイケースで対応していく。



▲緊急通報システム

シルバー人材センターの補助金が増えた理由は、新たな事業に対する補助なのか。

職員を5人から6人に増やし、体制を強化した。事業とは関連はない。

子ども貧困対策実態調査における、子どもの貧困及び支援ニーズの実態は。

国が定義している貧困世帯は、年間所得122万円以下の世帯で、市全体の9・2%であった。子ども食堂など無料または低料金で利用できる施設の希望者は、30〜40%ほど、無料の学習塾の利用希望者は、70・3%であった。

小学校3年生を対象に放課後子ども教室を進められているが、今後も継続するかどうかの判断材料は。

昨年度から新規事業として始まったが、保護者や子どもからのアンケートにより事業の進捗を捉えている。基本的には、今後も継続できればと考えている。



▲放課後子ども教室

認知症カフェの利用者数が大きく増えている理由は。

地域包括支援センターの職員が出向いたり、認知症地域支援推進員やケアマネージャーの声かけにより、内容が充実してきたと考えている。



花笑みカフェ
東深瀬853-11
花笑みクラブ内



オレンジカフェひだまり
大門850-67
伊自良老人福祉センター内



オレンジカフェ
谷合1363-1
美山屋(食事処)内

児童扶養手当給付事業の母子家庭、父子家庭の世帯数は。市内に交流支援する団体はあるのか。

母子家庭が113世帯、父子家庭が7世帯、養育者世帯が1世帯、合計121世帯。支援団体に類似するものとして、母子寡婦福祉会があり、母子家庭も所属している。

山県ふるさと体験事業の各学校の創意工夫を生かした研修内容は。

美山のキャンプ場を活用し宿泊体験学習を行っている。林業や大桑城登山など川や山を活用し、体と頭、心を鍛えるという形で進めている。



▲宿泊体験学習(茶摘み体験)

ごみ処理事業における資源回収補助金の少なかった理由は。

無料回収ボックスが各所に置かれるようになったことが最大の要因と考えている。

高富小学校のプールろ過装置取替工事の施工実施を再検討した理由は。

ランニングコストなどを考え、よりよいものを入れることを重視した結果、設計不足であった。再検討し、今年度補正で実施することにした。

山高MIRAI(未来プロジェクト)負担金における活動経費の内容は。

山県高校が単位制高校になる事前の取り組みとして、工業系普通科、看護系普通科などにかかわる活動のため、タブレットや介護ベッド購入などを行った。



【認第2号】 平成30年度 山県市水道事業会計決算の認定

水道事業について、施設の維持管理費、老朽化した配水管更新などの設備改良工事、計画的な設備改良と財源確保の計画立案に対する進捗状況は。

来年以降の年間事業計画では、主に配水幹線耐震化、高富北部連絡幹線、高富配水池、老朽管更新等を予定しているが、多大な財源が必要となるため、優先順位を決めて実施していかなければいけない。最優先課題は、漏水対策と考えている。

採決の結果、付託された議第86号から議第88号、議第90号、認第1号及び認第2号並びに議第91号から議第93号は全会一致で、原案どおり可決した。

10人の議員が登壇し、市政を問う



山崎 通 議員

Q 頻発する豪雨にどう備えるか

A 3つの視点で取り組みを推進

Q 地球温暖化によって、豪雨災害の発生回数はこの30年で1.6倍になっている。

うちだけは、大丈夫などと安易な気持ちを持たずに対応すること。災害が起きれば、まち上げの対応をし、市民の「命」を守ることが大切である。行政は、幼児、高齢者、障がい者の安全を確保するのが最大の責務である。被災に対しての施策や備えが万全であるか。

A 災害に備えることは、「命を守ること」に他ならず、3つの視点で取り組みを進めていく。

まず、市民に災害リスクを正しく認識いただくため、ハザードマップを順次更新し、自治会が行う防災訓練など、様々な機会において周知を図る。また、避難判断に役立つ適時適切な情報提供を

行うため、5段階の警戒レベルを付した分かりやすい情報提供のほか、夜間の避難を避けるため、早めの避難を呼びかける。このほか、避難所への避難が危険な場合は、建物の2階に避難するなど、命を守る最善の行動をとっていただくよう周知を図る。

さらに、高齢者や障がい者の円滑な避難に向け、自主防災組織のほか、ボランティアなども連携した共助の仕組みを構築する。



▲大桑地区防災訓練

Q 空き家の有効活用を

A 今後補助対象者などの見直しを検討



武藤 孝成 議員

Q 市内には約千戸の空き家があるが、その空き家を活用し、移住者呼び込み人口増加を図られている。そのために田舎暮らし空家活用支援事業補助金制度が設けられているが、補助対象者要件では対象地域が限定、また単身者には交付されないとなっている。

空き家の利活用を図るため補助要件の見直しをどうするか。

A 「山県市田舎暮らし空家活用支援事業補助金」制度は、美山地域の人口減少が著しい地区に市外から同居人のある移住者を対象とし平成27年度に創設した。

平成29年度にこの制度を一部見直し、国勢調査結果から人口減少が進んだ美山地域の富波地区と伊自良地域の平井地区及び長滝地区を加え、定住促進の観点から市内間の転居者も補助対象者とした。

また、空き家を活用し多世代での同居・近居をする人には市内全域を対

象とした「山県市ふるさと暮らし奨励金」制度もこの時に設け、空き家の利活用と移住・定住の促進を図ってきた。

補助対象地区や補助対象者を広げるには、補助金の財源確保が必要となるが、今後は、地区ごとの空き家数や人口の推移を注視し、補助対象者などの見直しについて検討していきたい。

また、空き家の利活用に関する補助金制度の見直しを検討する際には、子育て支援や産業振興など本市が現在進めている他の施策にも効果が見込めるような制度を検討していく。





石神 真 議員

Q 国道418号整備促進期成同盟会の下部組織づくりを

A 関係機関に要望活動を

Q 国道418号は、2次緊急輸送道路に指定され、美山北部の活性化を推進するうえでも重要な路線と考えている。しかし、平成26年まで国道418号道づくり住民会議として関係機関に要望活動などを実施したが、現在は活動が行われていない状況となっている。国道418号道づくり住民会議で作成されている2車線バイパス道路は、当時の役員皆様の要

Q 国道418号の整備促進期成同盟会の定期総会が今年も8月に開催された。美山北部は、緊急輸送道路の指定になっているが道路の幅が狭い。「国道418号道づくり住民会議」があり、本巢市境までバイパス道路の案も出され、陳情もされている。そこで、住民会議では国道418号整備促進期成同盟会の下部組織として新たな組織作りを実施してはどうかと提案されるが、市としての考えは。

望ルート案として、引き続きをしているが、今後も当時の2車線バイパス案を考慮し、実状に合わせたルート案の変更も必要と考えている。現会長と協議し、来年度から会議の開催や国道418号整備促進期成同盟会及び岐阜土木事務所などの関係機関に要望活動などを行いたいと考えている。



▲国道418号(葛原地内)

Q 消防団員の支援を

A 円滑な消防団活動を支援していく



加藤 義信 議員

Q 法改正により準中型免許が必要な消防車両があり、AT免許取得者の増加が想定される。活動に支障が出ないよう消防車両を移行するの、団員のメリットのため免許資格追加補助により対応するのか。

Q 一般団員の年額報酬について、広域化した3市1町と同様、国が示す地方交付税単価3万6500円に引き上げる考えは。

Q 消防車両の多くが順次更新時期を迎えることを踏まえ、今後の更新は、準中型免許が不要、あるいはAT限定免許でも運転可能な車両への移行を進めていく。

Q 法改正により準中型免許が必要な消防車両があり、AT免許取得者の増加が想定される。活動に支障が出ないよう消防車両を移行するの、団員のメリットのため免許資格追加補助により対応するのか。

Q 県内他市町村と比較すると、決して低い状況ではない。現時点では引き上げの予定はないが、今後、消防団とも協議していく。

Q 消防団応援カードのインセンティブ拡大の取り組みは。

Q 過去の発生した大規模災害では、人的・物的支援の円滑な受入れが課題となっており、受援計画の策定を進めていく。

Q 災害時の、受援体制構築のため、受援計画を策定する考えは。

その他の質問
・食品ロス削減について

※受援とは、応援の受入れを前提とした人的・物的支援の受入れ体制のこと。



郷 明夫 議員

Q-1 歳入の確保

A 寄附額増加に向け取り組みを推進

Q-2 財政調整基金の評価は

A 財政調整基金の適正な確保を

Q-1 政治関係者が住所登録のある地方自治体へふるさと納税を活用できない認識は。

A ポータルサイトの運営事業者を通じて高額納税者への働きかけや「ふるさと栗まつり」などの機会を通じて広く呼びかけを行っていく。

Q-1 ふるさと納税増額の今後の戦略・戦法は。

A 岐阜地域の市町の中で5番目であるが、妥当な額と考えている。

Q-1 近隣市のふるさと納税状況を比較し、その評価は。

A ふるさと納税が国民に広く浸透したこと、ふるさと納税ポータルサイトの利用を拡大し、受入環境の充実を図ったこと、本市の魅力発信する返礼品を追加したことが要因と考えている。

Q-1 歳入で唯一大きく増加したのは寄附金(ふるさと納税)9901万円。「ふるさと納税」の寄附金が増加した要因は。

A 普通交付税等の減少、東海環状自動車道インター開通を視野に入れたまちづくり推進のため、今実施すべき施策などを集中的に実施したことによる積極型予算が続いているためである。

Q-2 過去5か年間で、総額10億円以上の基金残高減少。市の認識は。

A 財政調整基金の明確な基準は無く、年度間の財源調整や将来の財政需要に備えて積立てを行うもので、現時点では、適正な額を確保できていると考えている。

A 財政調整基金の明確な基準は無く、年度間の財源調整や将来の財政需要に備えて積立てを行うもので、現時点では、適正な額を確保できていると考えている。

Q-2 平成30年度決算で財政調整基金は3億2471万円減少。現在の財政調整基金26億3021万円規模の評価と、市の財政調整基金残高の適正額は。

A 公職選挙法の規定により、議員は選挙区の地方団体に對し寄附をすることが禁止されている。

一般質問

Q-1 選挙の投票率向上を

A 期日前投票をしやすい環境を整備

Q-2 外来植物への対策は

A 特定外来植物の防除を啓発



古川 雅一 議員

A 投票事務に要する職員や経費のほか、美山中央公民館の利用状況などを考慮し、期日前投票所の設置について検討する。

Q-1 地域において投票率の差が大きい。今後、美山中央公民館での期日前投票所の設置の考えは。



▲期日前投票(市役所1階ロビー)

A 市役所の期日前投票所を1階ロビーにしたことで、利便性が向上し、投票人が増加したほか、投票所の混雑解消が図られた。今後も市役所1階ロビーに期日前投票所を設置する。

Q-1 7月の参議院選では、市役所の期日前投票所を1階ロビーで行ったが、試験的に行ったのか。それともこれからも継続して行っていくのか。

A 日本生態系などに被害を及ぼす恐れのある外来種の中でも、緊急的に対策が必要とされる外来植物(特定外来植物)について、生物多様性を保全するため、防除の必要性を広報紙やホームページで周知していく。また、県が6月を「特定外来植物防除月間」に定めた趣旨に協調し、防除の啓発を推進していく。

Q-2 市民への周知方法、これからの対策は。

A 小学校では、外来植物の位置付けはないが、生活科や理科の学習で在来タンポポと西洋タンポポについて見分ける程度の学習をしている。中学校では、3年生理科の単元「地球と私たちの未来のために」の中で「生態系のつりあいと外来生物」という学習が位置付いており、すべての生徒が外来生物について学習している。

Q-2 外来植物に対する学校での教育状況は。



上野 欣也 議員

Q いじめのない明るい学校づくりを

A 社会全体で対策を進める

Q 他市でいじめが原因で中学生が自殺する痛ましい事案が起きた。いじめの根絶を目指した学校づくりについて伺う。

A 命を絶たざるを得ない状況にまで追い込まれないよう、周囲の気付きや行政機関が中心となり、丁寧な相談対応を進めるなど、社会全体で対策を講ずる必要がある。

Q いじめを見抜き、いつでも相談できる教師が必要である。考えと方策は。

A 児童生徒が信頼して相談できるのは、正義感ある教師であり、嫌がらせやからかいの根底にある差別意識や自分本位の見方に踏み込んで指導ができる能力が必要である。臨床心理士の見立てを取り入れた事例検討会を実施していく。

Q 命の尊さを実感できる教育が必要。どのように指導していくのが効果的か。

A 緩和ケア、介護支援団体で日々命と向き合っている活動している人と中学生との意見交換など、かけがえのない命について深く見つめられる機会をつくっていく。

Q 情報の透明化を図る必要があるが、考えは。

A いじめは、子どもの日々の生活の安全を脅かし、友人との触れ合いを通して自由に成長する権利を奪う人権侵害であるという認識に立つことが、いじめは絶対に許してはいけないという強い信念を生み、いじめのない、いじめが起きても解決に向かう社会をつくると考える。

Q いじめ防止対策の組織が機能するには。

A 新たに心理の専門知識を有するスクールカウンセラーやPTAなどを加え構成する「学校いじめ対策委員会」を学校ごとに設置し、いじめ防止の実効性を高めていく計画を進めている。

一般質問

Q-1 福祉のまちづくり 今後の取組は

A 全ての人が利用しやすい施設を

Q-2 障がいのある子どもたちへの支援体制は

A 運営の現状と課題を調査する



寺町 祥江 議員

Q1 障がいのある人や高齢者の外出などの機会を促進するために、公共施設の多機能トイレのあり方・設置について、市の考えは。

A 今後整備する施設のうち、様々な人の利用が見込まれるものについては、多機能トイレの設置に加え、各機能の分散を検討する。既存施設も、利用状況を踏まえ可能な範囲で改善に努めていく。

Q1 高富児童館のエレベーター整備についての考えは。

A 公共施設等総合管理計画に基づき高富児童館の事業実施状況を考慮し、エレベーターを含め適切な修繕予算を確保する。

Q1 「山県市公共施設等総合管理計画」などの計画にユニバーサルデザイン化の推進方針を。

A 障がい者や高齢者も含め、全ての人が参加できる社会の実現に向け、山県市公共施設等総合管理計画や個別施設計画の改訂を進めていく。

Q2 児童発達支援センターや保育所等訪問支援等の支援を、市内で包括的に担うことを視野に入れ取り組んでいただきたい。市の考えは。

A 市内での児童発達支援センター設置は、看護師や嘱託医及び児童発達支援管理責任者などの配置が必要となり、人員確保の面から対応が難しい状況にある。療育機関として利用がある「岐阜地域児童発達支援センター組合ポポの家」などの利用促進を図る。

また、保育所等訪問支援事業を開始するにあたり、事業所として県の認可が必要となる。現在はピッコロ療育センター職員が必要に応じ、市内各保育所を巡回し支援を行っている。今後、ピッコロ療育センターの運営について現状と課題など調査研究を進めていく。



操 知子 議員

Q-1 農地集積・集約に向けた方策は

A 農業委員などを軸に地域で会合

Q-2 子どもの不登校と自殺対策は

A ニーズに応じた連携に努める

Q-3 骨粗しょう症検診の推進を

A 骨粗しょう症の検診実施を検討

A 山県市スクールソーシャルワーカーが市内NPO法人団体などと連携を進めているが、近隣市町の民間団体など、個々のニーズに応じた効果的な実践に目を向けていく。

農福連携や子ども食堂における参加事例のある自治体もあるが、生きることの促進要因としての民間連携は。

Q-2 家庭、学校、社会が与える影響は大きく、幅広い支援が必要である。

A 「人・農地プラン」の実質化への取り組みの中で、農業委員や農地利用最適化推進委員を中心に、各地区の農事改良組合組織を利用し、意見の交換と調整を図り、農地中間管理事業を利用し集約を図っていくことが肝要だと考える。

Q-1 農用地内において、「貸したい」という所有者の意識改革が必要。「人・農地プラン」の見える化による、農地集積・集約への方策は。



A 骨粗しょう症検診については、重要な検診と考えている。来年度予算の編成でその他の健康診査及びがん検診などと総合的に精査する。実施するのであれば、対象者はどうするのか、個人負担金はいくらにするのかなどを検討していく。

Q-3 6月議会における一般質問を踏まえ、骨粗しょう症は閉経後女性の割合が圧倒的に高く、寝たきりとなる要因である。65歳、70歳、75歳の未治療の人や未検査の人を対象とした無料又は3000円の節目検診を行ってはどうか。

Q-1 インター完成にむけた山県市公共交通網の再編は

A 令和2年度中の完成をめざす

Q-2 非核平和都市宣言に基づく平和教育、平和関連事業の実施状況は

A 積極的に取り組みを進めていく



福井 一徳 議員

Q-2 広島・長崎被爆75年、NPT核不拡散条約発効50年という「核兵器のない世界」に向けた重要な節目の年に「被爆写真パネル展」開催や市民への貸し出しを検討しては。

A 11月に行う実証実験の結果を踏まえ、公共交通会議に諮問し、来年度秋までに認可申請を考えている。

Q-1 認可申請含めた今後の再編スケジュールは。

A ハーバス大桑線、伊自良線が岐北厚生病院まで乗り継ぎなしで運行できるように検討する。

Q-1 従来の岐北厚生病院までの直行便の確保は。

A バス停増設には、様々な関係者があり、市民からバス停設置の要望を聞き、検討する。

Q-1 既存ハーバスのバス停増設によって利便性の向上を図ってはどうか。

A 新規路線の運行経費は概算で6000万円程となるため、既存路線についても見直しを行う。

A 署名は個人の意思であるため、強要することはないが、平和関連事業は、積極的に取り組んでいく。

Q-2 「核廃絶ヒバクシャ署名」推進などの来年度計画は。

A 市民に多様な学習機会を提供する役割から、「平和に対する学習」もその一つとして考え、市民の関心やニーズを踏まえ、映画会など計画を検討していく。

Q-2 社会教育として講演会や映画会の計画は。

A 来年度の児童生徒向け夏休みコンクール募集一覧には「平和なまち絵画コンテスト」を新たに追加、周知・啓発を図る。

Q-2 小中学校での平和教育に関する取り組みは。

A 現在の展示資料が痛んでいるため、日本非核宣言自治体協議会から新しい展示資料を提供いただければ、貸し出しのできるよう、手続きなどを整備する。

議会運営委員会視察研修報告

長野県軽井沢町へ視察

7月16日、長野県軽井沢町に視察研修を行い、通年議会の運営の仕方や、議会報告会の進め方について説明を受け質疑、意見交換を行った。

通年議会は、『一年間の会期制』ということで市長が招集しなくても、議長の権限で議会の開催ができ、住民に開かれた議会、または住民に信頼される議

会活動ができる。

メリットとしては、委員会の所管事務調査や、すぐにも取り組みなければならぬ問題が生じた場合、迅速に対応ができる。本委員会でも議会運営の充実が図られるように協議していきたい。

「語り語る会」として報告会を20分程度、残りの時間は意見交換を中心に実施している。議会の役割、重要性を理解していただくために、新たな試みで、各種団体の懇談会も行われている。

本市も新たな取り組みに挑戦する時が来たのではないかと思う。
(文責 石神 真)



第6回議会報告並びに意見交換会を開催しました (10月7日)

今年度は3会場(富岡公民館、伊自良中央公民館、美山中央公民館)において同時開催し、多くの市民の参加をいただきました。質疑や意見交換の内容は次号67号(2月発行予定)に掲載します。



▲富岡公民館

バスターミナル整備特別委員会



市長に要望書を提出(7月26日)

バスターミナル整備事業はバス利用者の利便性を高め、市民の移動手段の確保と高齢化が進むなかでの移動ニーズに配慮したサービスの提供、また地域公共交通網の拠点としての乗り継ぎの円滑化を図り、まちづくりの重要な拠点とするため、山県市の活性化に期待をよせている。

複合施設には、新たな市民向け施設を設け、住民サービスの向上に努めることで、にぎわいの創出を核としたまちづくりを進める機会でもある。

事業化への取り組みに向け早急に検討し、市民サービスの向上を目的とした予算反映に努めるよう、市長に要望書を提出した。



要望内容

〔複合施設〕

- ・ 官民連携の運営
- ・ フリースペース・地域参加型活動拠点の提供

- ・ 行政機能を備えたブースの設置(各種証明書の発行など)
- ・ 特産物の展示・歴史・文化など、本市の紹介スペースの設置

- ・ 軽飲食販売店の参入、または自動販売機などのスペースの確保
- ・ 運営の一部にふるさと納税を利用する

- ・ 「地域とのつながりの場」
- ・ 地域農産物の促進を図るため屋外での軽トラ朝市の開催

- ・ 「防犯・防災」
- ・ 深夜帰宅者や、青少年などの犯罪抑止のため、防犯カメラの設置を図る
- ・ M-TT環境の整備

- ・ 「進入路」
- ・ 複合施設利用者数に反映するため、出入りしやすい安全な道路整備を図ること

(文責 加藤 義信)

議会活動日誌

7月

- 2日(火) 議会報編集委員会
- 5日(金) 第282回岐阜県市議会議長会議
- 12日(金) 議会報編集委員会
- 16日(火) 議会運営委員会視察研修
ぎふ国道256号整備促進期成同盟会定期総会
- 18日(木) 全国森林環境税創設
促進議員連盟
第26回定期総会
- 22日(月) 議会制度評価検証特別
委員会
市議会議員研修
(市職員とSDGsを学ぶ)
- 24日(水) 第68回岐阜県消防操法
大会出場激励会



▲市議会議員研修

8月



▲第68回岐阜県消防操法大会

- 4日(日) 第68回岐阜県消防操法
大会
- 7日(水) 国道418号整備促進期成
同盟会定期総会
- 26日(月) 市町村議会議員セミナー
- 28日(水) 観光整備特別委員会
- 30日(金) 議会運営委員会
議会制度評価検証特別
委員会

9月

- 2日(月) 全員協議会
- 4日(水) 敬老会(美山地域)
- 5日(木) 敬老会(高富地域)
敬老会(伊自良地域)
- 6日(金) 第3回定例会本会議 開会
- 10日(火) 議会運営委員会
- 13日(金) 本会議(質疑)
議員協議会
議会報編集委員会
- 18日(水) 総務産業建設委員会
- 19日(木) 厚生文教委員会
- 20日(金) 議会運営委員会
本会議(一般質問)
- 25日(水) 本会議(一般質問)
- 27日(金) 議会運営委員会
本会議(委員長報告・質疑・
討論・採決・閉会)
議会制度評価検証特別
委員会



▲ふるさと栗まつり2019

テレビ放映の お知らせ



令和元年第4回(12月)定例会 本会議の「提案説明」と「一般質問」をチャンネル長良川で放送します。

放送日時・チャンネル 12月27日(金) 12時~CCN12
12月29日(日) 17時~CCN12(サブチャンネル)

編集後記

第3回定例会が終わった頃は、水面に映える彼岸花が美しく咲いていましたが、伊自良湖や四国山香りの森公園、大桑城では紅葉が始まり、各地域では初冬の準備が始まります。

伊自良地域では風物詩である伊自良大実柿がオレンジ色のすだれのように軒先に連なり、天日干しされる光景が見られるようになります。

美山地域の農産物直売所に立ち寄れば飛騨・美濃伝統野菜である桑の木豆が店頭に並びます。高富地域では、インター開通へ向けて、忙しく日常が過ぎていきます。

ゆく秋の寂しさ身に染みるこの頃ですが、体調をくずさされないようお過ごしください。

(文責 操 知子)

編集委員

- 【委員長】 武藤 孝成
- 【副委員長】 操 知子
- 【委員】 村瀬 誠三
- 郷 明夫
- 寺町 祥江

令和元年第4回(12月) 議会定例会予定

12月 2日(月)	本会議(提案説明)
12月 9日(月)	本会議(質疑)
12月11日(水)	総務産業建設委員会
12月12日(木)	厚生文教委員会
12月16日(月)	本会議(一般質問)
12月17日(火)	本会議(一般質問)
12月19日(木)	本会議(委員長報告・ 討論・採決)

※会議は、原則午前10時より開会します。
※傍聴の受付は、住所・氏名のご記入です。
お気軽にお越しください。
※日程を変更することもありますので、事前に議会事務局(22-6840)までお問い合わせください。

ホーム ページ



▲市ホームページ
(山県市議会)に
アクセスできます。